

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

腎細胞癌における治療選択（術式・薬物治療）が予後に与える影響の後ろ向き臨床研究

1. 研究の対象

2010年4月1日から2025年6月20日までに当院の腎泌尿器科で腎癌に対して手術、及び進行腎癌に対して薬物治療を受けられた方。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） 25 8 . 1 から 2030年3月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的 腎細胞癌に対する手術治療（開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット支援手術）および薬物治療の実臨床における選択とその予後への影響を解析することを目的とします。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報： 診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像、病理結果）、手術関連情報
（手術時間、出血量、術式、気腹時間、コンソール時間、温阻血時間、周術期
合併症）、手術及び入院に関わる費用、薬物治療レジメン、副作用

試料： 該当なし

5. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報等を他施設に提供することはありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2340）

研究責任者 腎泌尿器科 梅本 達哉

問い合わせ担当者 腎泌尿器科 梅本 達哉